

認定看護師会会報NO.14



今回は

救急看護認定看護師 の活動を紹介します

実践

救急病棟に所属し、超急性期～急性期患者さんに対する直接ケアなどの看護実践を行っています。



日本救急医学会認定ICLSコースでは、チーム蘇生を習得するため受講生にとって有意義なコースとなるようコーディネートしています。
また、これまで教わる側だった方が、次は人に教える技術を身につけられるようにと、アシスタントインストラクターを育てる活動をしています。

指導



相談

救急看護領域の学習会の開催に関する相談を受けています。

お気軽にご相談ください

- 先日あった事例の振り返りをしたい
- 危機状況にある患者・家族の心理的問題や支援について知りたい
- 救急看護関連の勉強会の開催を考えているけど、なにから手をつけたらいいのかわからない
- ICLSインストラクターにチャレンジしてみたい
- フィジカルアセスメントについて学習したい

などなど...

◆ “急変に的確に対応できる”から“急変の徴候をキャッチし、状態悪化を未然に防ぐことができる”ナースをひとりでも多く増やしていきたいと考えています。
◆ AHA-ACLSコースや日本救急医学会ICLSコースを修了している方は、ICLSコースで“アシスタントインストラクター”にチャレンジすることができます。
興味のある方は、メールまたはPHS(6179)にご連絡ください。お待ちしております。

月刊ナーシング7月号で紹介されました。
機会があったらみてください！(2012vol32, No8)

